

がんセンター 看護の日

がんセンターでは、5月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日～5月18日を看護週間とし、ホスピタルストレートにナイチンゲール像と「看護の日」の趣旨を紹介したポスター、生花を飾りました。

今年は、3年ぶりに看護師を目指す高校生が看護に触れる機会となる「ふれあい看護体験」を県立上尾高校の学生さんをお招きし開催しました。

学生は白衣に着替え、看護師と共に病棟での看護の実際を見学しました。見学後は意見交換を行い、学生からは「早く看護師になりたいと思った。」との感想や「大学・専門学校のどちらに進むほうがよいか」などの質問があり、先輩から「どちらに進学しても、自分で選んだ道に間違いはない。」とのコメントに背中を押され笑顔で病院を後にしました。

今後も、「看護の日」を通じて、看護に関心を持っていただけるように努めていきます。

『ハートの木』優しさと温かさを表現しています

